

令和5年度 図書館利用者懇談会 ～各館で出た図書館全体に関わる質問～

<p>【対応状況・凡例】</p> <p>◎ 現在対応済みの項目</p> <p>○ 早急に対応を行う項目</p> <p>□ 施策・事業を実施していく中で取り組むまたは検討する項目</p> <p>△ 全館対応を検討する項目</p> <p>— 対応が困難な項目</p>
---

番号	利用者からの意見・要望の概要	図書館の考え方	対応状況	質問が出た館
1	図書館まで行かれない高齢者のために、本を車に積んで貸出しに来てくれる移動図書館(ブックモバイル)を復活させてほしい。	移動図書館(ブックモバイル)は、従前区内の図書館が少ない時期に運行していましたが、各地域への図書館整備に伴う利用者の減少や移動車両の老朽化などにより、平成17年に3月に廃止となりました。現時点で、移動図書館を再開することは考えていません。	—	大泉
2	視聴覚室、会議室の利用について申し込みをインターネット上から行えるようにしてほしい。	システムを導入し利用申込を行えるよう検討しています。	□	関町
3	これから電子図書の時代になっていく可能性がある中で、本というものが、また読書というものがどのような形でおこなっていかれるのか、教えていただきたい。	練馬区立図書館でもシステム更新に伴い、来年度に電子書籍貸出サービスを導入する予定です。紙の資料も継続して購入していきますが、電子書籍は電子のメリットを活かせるジャンル(文学・ガイドブック・実用書等)に絞って導入する予定です。来館せずに利用が可能になることや読書方法の選択肢が増えることでより利用者が増えるように取り組んでいきます。	○	貫井
4	合同企画で映画会等をされると思いますが、私たち区民にとっては、全部区立図書館である。なぜ光が丘は入っていないのか、ここでやらないのかとか、という感覚があるが、会社を超えて、他の館にまで呼びかけるといったことはできないのか。今のところ難しいのか。	図書館の上映会で利用可能な著作権承認済みの作品は高額なため、同一の運営事業者の複数館で合同企画として実施しているのが現状あり、事業計画は各館が地域の特性や利用者のニーズ等を踏まえて企画・実施するものです。今後は光が丘図書館でも企画可能か検討していきます。	□	貫井
5	食事の問題ですが、図書館というところは食事についてはだめということはおわっているが、今後の新しい図書館では軽食を簡単にできるようなことは考えていただきたい。あるいは近くにそういう場所もあればほんとうにいいと思う。館内が無理なら、外側の軒下を長くして、雨の時でも外の空気のところまで食べれるような空間を作っていただくとか工夫ができるのではないのか。	新型コロナウイルス感染症の影響も落ち着いてきたことから、各館の状況に合わせて再開してまいります。	□	貫井
6	視聴覚室の利用申込書の記入する個所が多くて、時間がかかるので書式の簡略化をお願いしたい。	システムの導入に合わせて書式の簡略化を検討してまいります。	□	貫井

番号	利用者からの意見・要望の概要	図書館の考え方	対応状況	質問が出た館
7	図書館は静かにするところだとわかってはいるが、人と人とのコミュニケーションがとれるように、談話室などがあればいいと思う。	誰もが利用しやすい図書館を目指し、例えば会話を楽しめる時間帯（おしゃべりタイム）やスペースの提供など多様なニーズに応える空間の使い方について検討します。	□	小竹
8	練馬区とオーストラリアのイプスウィッチが友好都市の提携を結んでいるのなら、zoomなどで区民参加のイベントができないだろうか？ 国際交流にもつながると思う。	友好都市であるイプスウィッチ市とは来年度に区立中学生徒が同市に派遣事業交流を実施する予定となっていますが、その他で区民参加のイベントは考えておりません。	★	小竹
9	南大泉5丁目付近に受取窓口を設置してほしい。	区では、図書館を概ね生活圏半径1km以内に1か所整備することとし、計画的に12館と1分室を設置してまいりました。あわせて、図書館が近隣にない地域におきましては、図書館サービス向上のため、図書館ホームページなどで予約された本、CDの受取・返却ができる図書館資料受取窓口を、区立施設や駅の近くを中心に、現在6か所設置しています。受取窓口の新設は、図書館サービスのさらなる向上につながるものと区でも認識しております。今後、いただいたご意見を参考に、より利用しやすい図書館となるよう検討します。		南大泉
10	図書館発行の文書を西暦表記に統一してほしい。もしくは西暦と和暦を併記してほしい。	基本的に和暦と西暦を併記していますが、限られた紙面を効率的に活用するため和暦のみで記載している場合があります。	—	南大泉
11	図書館の運営を指定管理者から区の直営に戻した方がよいのではないか。	図書館の運営については、「練馬区公共施設等総合管理計画」に基づき、指定管理者を導入しているため、直営に戻すことは考えていません。	—	南大泉
12	移動図書館があるとよい。	移動図書館（ブックモバイル）は、従前区内の図書館が少ない時期に運行していましたが、各地域への図書館整備に伴う利用者の減少や移動車両の老朽化などにより、平成17年に3月に廃止となりました。現時点で、移動図書館を再開することは考えていません。		南大泉
13	区報のように区民に身近な広報媒体にどんな本を図書館に購入して欲しいかを掲載したら子どもたちの意見や広く意見を聞けるのではないか。	図書のリクエストを区報で募るのは難しいですが、これからも図書館で「資料購入希望カード」の提出、メールで受け付けていきます。リクエスト方法等を広く区報等で周知していきます。	—	南大泉
14	図書館ホームページが使いにくいので再考してほしい。	令和6年度に実施するシステム更新と併せてホームページも更新します。その中で使いやすさなど検討します。	○	南大泉

番号	利用者からの意見・要望の概要	図書館の考え方	対応状況	質問が出た館
15	全文一致検索以外ヒットしないので、ネット検索のようにあいまい検索でもヒットするようにしてほしい。	令和6年度に実施するシステム更新の中で検討します。	○	南大泉
16	かつて実施していた移動図書館サービスを復活させてほしい。 図書館と受け取り窓口を増やしたと言っても、高齢者にとっては遠いところにある。	移動図書館（ブックモバイル）は、従前区内の図書館が少ない時期に運行していましたが、各地域への図書館整備に伴う利用者の減少や移動車両の老朽化などにより、平成17年に3月に廃止となりました。現時点で、移動図書館を再開することは考えていません。	—	春日町
17	社会の変化に対応して各種事業の開催やコミュニティづくりの機能を求められることは理解できるが、レファレンスや読書推進といった図書館の核となる機能とのバランスをどのように取っていくことが良いのか。核となる機能に集中してほしい。	図書館の根幹であるレファレンスや読書推進について引き続きしっかりと取り組んでいきます。	◎	春日町
18	本を読むために質問をして説明を聞く必要がある知的障害の方もいる。そのような方たちの発話がある程度許されるような場になると良い。	障害がある人もない人も誰もが利用しやすい図書館を目指し、例えば会話を楽しめる時間帯（おしゃべりタイム）やスペースの提供など多様なニーズに応える空間の使い方について検討します。	□	春日町
19	障害のあるお子さんが親子で声を出して本を楽しめるような場として、対面朗読室の利用がない時に使えるようにしてほしい。	対面朗読の利用がない時に使用できるように運用方法を検討します。	○	春日町
20	税金で運営されている図書館であるから、来館した人だけに向けたサービスばかりではなく、区民全体に還元されるようなサービスをしてほしい。	令和6年度に実施するシステム更新の中で検討します。	□	春日町